

バス停でよく会うようになったヤさんとウスイさん。ある日、ヤさんのスマートフォンにウスイさんの大好きなキャラクターのキーホルダーがついているのを発見！うれしさのあまり、ウスイさんはヤさんに興奮気味に話しかけ始めます。



ウスイさん

ヤさん！ヤさんの スマホを 見せてください！
ヤさんは、そのキャラクターが 好きですか？

これですか。とても好きです！
ウスイさんも、好きですか？



ヤさん



2

ぼく、めーっちゃ好きで！今度マチカネくんとコラボするの知ってますか？あれ、いつやったかな、岡町の商店街で期間限定の特設カフェがオープンするって聞いてて、絶対に行こうと思ってるんですけど、マチカネポイントもつくし、スタンプラリーもあるして、もうめっちゃくちゃ楽しみで・・・！！

コラボ？ それは、庄内コラボセンターですか、それとも、千里文化センターコラボのことですか。



共通の趣味を見つけたウスイさんとヤさん。いろいろと話したいことがあるようですが、つい早口になってカタカナ語がいっぱいの会話に、ヤさんは追いつけなくなってしまっている様子です。

Step① ②の会話、やさしい日本語にするとしたら、どんな言い換えができそうですか？

Step② あなたがウスイさんだったら、この他にどんなやさしさをプラスしますか？

Step③ やさしさを広げるために、ご近所や地域でどんなこと、ものがあると良いですか



日本語の中にはカタカナで書かれた「カタカナ語」があふれています。元は英語であっても、カタカナ表記が英語の実際の発音とは異なるため意味が通じにくく、英語のように見えても実は日本でしか通じない和製英語（例えばキーホルダー、コンセント、ペットボトルなど）も多く、カタカナ語は実は外国人にとっては、意味のわかりにくくせ者なのです。

また、このお話のなかに出てくるような地域のイベントの情報や、「マチカネポイント」のように地域独自のお得な仕組みについて、知らない外国人も少なくありません。日本語がわからないという言葉の壁もありますが、地域とのつながりの有無によっても、得られる情報が大きく変わっていきます。ウスイさんのように、知り合いを通じてこうした地域情報を得られることは、とても大きな意味があります。もちろん、同じ趣味をもつ仲間や友だちがいることも！